

2025 年度主要事業の成果について

STATION Ai 事業

日本最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」（名古屋市昭和区）の運営を担う STATION Ai 株式会社が、成長ステージに応じた多様な支援プログラム等を提供しています。



STATION Ai

◎ STATION Ai の KPI（業績評価指標）

KPI	2025 年度実績	2029 年度目標
スタートアップ会員数	675 社	1,000 社
パートナー企業会員数	359 件	400 社
女性起業家数比率	12%	20%
海外スタートアップ比率	8%	20%
資金調達社数 ^{※1}	307 社	1,040 社
資金調達額 ^{※1}	870 億円	1,310 億円
^{エグジット} EXIT（M&A ^{※2} 、IPO ^{※3} ）数 ^{※1}	2 件	51 社

※1 2024 年 10 月の STATION Ai 開業からの累計

※2 M&A：企業の合併・買収により経営権・事業を移転する仕組み

※3 IPO：株式を取引所に新規上場・公開し資金調達を行う仕組み

1 包括型支援

（1）会員相談、グロース支援、オープンイノベーション支援

常駐のコミュニティマネージャーが会員からの相談を受け付け、内容を精査する。そのうち、会員スタートアップに対しては、起業準備や資金調達、マーケティング、販路開拓、ファイナンス、法務、知的財産施策など、課題に応じて専門家であるメンターによる支援を行う。また、オープンイノベーションコーディネーターが、共創の手法をセミナーやマニュアルなどを通じて普及・啓発を行い、最適なパートナー企業とのマッチングを促進。

（2）コミュニティ構築

会員同士が支援し合う小規模コミュニティ「ギルド」や専門家による相談会「オフィスアワー」の運営、外部の事業会社等を招待したスタートアップのピッチイベント開催を通じて、STATION Ai を中心としたコミュニティを構築。

（3）スタートアップ人材採用支援

人材マッチングイベントの開催や、スタートアップで働きたい社会人や学生・フリーランスの人材プールの構築、HR(Human Resource) 専門家による企業面談を通じて、スタートアップの人材採用を支援。

◎ 事業の成果（STATION Ai 株式会社のプログラム）

イベントの実施：2,058 件（ピッチイベント、交流イベント、セミナー など） 起業数：21 社 人材採用実績：47 名
--

（4）STATION Ai Central Japan 1号ファンド

STATION Ai 株式会社を GP^{※1} とし、ソフトバンク株式会社、愛知県、名古屋市、地域の金融機関や事業会社等が LP^{※2} として出資する STATION Ai Central Japan 1号ファンドにより、STATION Ai 会員に対する投資を通じて、スタートアップの資金調達を支援。

※1 GP（General Partner 無限責任組合員）：ファンドの運営者

※2 LP（Limited Partner 有限責任組合員）：投資資金の出し手

◎ 事業の成果

ファンド設立以降の累計投資件数：30 件

2 特化型支援

（1）学生向け起業家育成プログラム「STAPS（^{ステーション エーアイ プログラム フォー スチューデント} STATION Ai Program for Students）」

起業を志す学生を対象に、事業開発や仮説検証、メンタリング、ピッチコンテスト等を提供する短期集中プログラム「STAPS」を実施。（夏・春の年2期実施）

「起業を当たり前選択肢に」をテーマに掲げ、よりライトに起業について学べるセミナーや、事業化に向けた解像度を上げるためにアイデア創出を経験できるワークショップも実施。

◎ 事業の成果

プログラム参加者数：26 チーム 71 名（夏期）、28 チーム 47 名（春期） プログラム参加後に起業した人数：30 名（2025 年度末までの累計）
--

◎ 具体的な成果事例

2025 年夏期 STAPS に参加した高校生の野田樹里 ^{のだじゅり} 氏が、株式会社 JYUNIHITOE ^{ジュウニヒトエ} を法人登記。STATION Ai 会員となり継続支援を実施。
--

（2）社会人向け起業家育成プログラム「ACTIVATION Lab」

副業・兼業による起業を志す社会人を対象に、社会人起業家としての学習機会や起業アイデアの発掘の場を提供する「ACTIVATION Lab」を実施。

有名起業家などの著名人による講演会（Lecture）や新規事業や起業に必要な要素を学ぶ勉強会（Study）、実際にアイデアを見つけるアイデアソンやチームアップを図るワークショップ（Workshop）を実施。

◎ 事業の成果

セミナー・ワークショップ参加者数：495 名 プログラム参加後に起業した人数：11 名（2025 年度末までの累計）

◎ 具体的な成果事例

2025 年度にプログラムに参加しメンタリングを受けた中道嘉^{なかもち かずき}総氏が、株式会社ナース X^{エックス} を法人登記。STATION Ai 会員となり継続支援を実施。

(3) プレシード向け支援プログラム「STATION Ai Gatapult」

創業直後からシードステージのスタートアップが、プログラム期間中に資金調達に臨める状態に事業成長することを目指すプログラム。スタートアップの成長ステージに合わせて、30 名以上の投資家に相談することが可能。

◎ 事業の成果

短期集中プログラム採択企業数：15 社

◎ 具体的な成果事例

食品×機能性素材の掛け合わせによる独自技術により新たな食文化の創出を目指すフル^{フル}ライフ株式会社^{フルライフ}が、プログラム期間中に 5,000 万円の資金調達を実現。

(4) オープンイノベーション支援プログラム「SKIP Focus」

事業会社を対象に、STATION Ai が持つスタートアップコミュニティと専任のコーディネーターによる伴走により、オープンイノベーションを推進する人材の育成や、スタートアップとの協業を支援するプログラムを実施。

◎ 事業の成果

プログラム参加企業数：5 社

◎ 具体的な成果事例

ネットトヨタ富山株式会社^{ジン}が、STATION Ai 会員スタートアップである株式会社gin と音声対話型 AI ソリューションの導入に向けた協業を開始。

(5) 「e-Palette」の活用

次世代モビリティ「e-Palette」を全国の自治体に先駆けて導入し、STATION Ai を起点とした定期運行を実施するとともに、STATION Ai 会員スタートアップ等による、人の移動やモノ・サービスの運搬など、新たなモビリティサービスの活用を図った。



e-Palette

◎ 事業の成果

定期運行	区間：STATION Ai～名古屋駅 運行日数：65 日、延べ乗車人数：1,103 名
実証実験	2025 年 3 月に開催した「e-Palette ビジネスコンテスト」で優秀賞を受賞したスタートアップ等 3 社による実証実験 (音声コンテンツを活用した没入型移動体験 等)

エコシステム形成事業

本県では、STATION Ai を中核としたスタートアップ・エコシステムの形成に向けた多様な取組を行っています。

1 裾野拡大

(1) あいち創業館

本県にゆかりのある革新的な事業を興した創業者・経営者の実績等を、デジタル技術を用いて紹介。一般・学校団体向けのあいち創業館ガイドツアーや子ども・親子向けのイベントの開催も実施。（展示対象者：60名）



あいち創業館

◎ 事業の成果

来館者数：75,251名

学校団体等を対象とした館内ガイドの受入れ団体数（参加者数）：21件（845名）

来客利用促進のためのイベント参加者数：83名

(2) あいちスタートアップスクール

小中学生向けでは、起業家による講演や模擬会社設立ワークショップなど、各世代に応じた起業家育成プログラムを実施。

また、高校生・高専生向けでは、プログラムを「基礎編」・「応用編」に分け、ビジネスアイデアを考えるグループワークや実現したい事業アイデアを具体的プランにするためのメンターによる助言等を実施。

さらに、高校生を対象にアントレプレナーシップ（チャレンジ精神、創造性等）の重要性を理解する機会を提供するため、起業家等による出張授業を実施。

◎ 事業の成果

小学生プログラム参加者数：171名

中学生プログラム参加者数：27名

高校生・高専生プログラム参加者数：基礎編 25名、応用編 21名

出張授業参加校数（参加者数）：12校（1,153名）

(3) オープンイノベーション裾野拡大（2025年度新規）

愛知ブランド企業を始めとする基盤産業関連のモノづくり中小・中堅企業を対象に、新規事業を創出するための計画策定から計画内容の実行までを、コーディネーターが一貫して支援する総合的な支援プログラムを実施。

また、外部企業等との連携を始めとしたオープンイノベーション手法の活用等についても、必要に応じて支援。

◎ 事業の成果

プログラム参加企業数：8社

◎ 具体的な成果事例

株式会社河村工機製作所が、プレス加工による薄板金属製品ソリューション提供を通じた建材業界へ新規参入。

- ・見積獲得 : 5社
- ・潜在顧客のリストアップ : 168社
- ・建材関係会社へのアプローチ : 22社

2 資金調達支援

(1) AICHI STARTUP BATTLE (ビジネスプランコンテスト)

起業確度が高い者等を対象として、知見・資金両面でサポートする、起業支援一体型の起業家ビジネスプランコンテストを実施。

アクセラレーションステージでは、知識習得と事業アイデアの磨き上げを実施し、コンテストステージでは、ピッチスキルのブラッシュアップやメンタリング、発表機会の提供を通じて資金調達や事業化を支援。

◎ 事業の成果

アクセラレーションステージ 応募者数：50名、プログラム参加者数：20名
 コンテストステージ 登壇者数：10名、コンテスト観覧者数：93名

◎ 具体的な成果事例

会社名等	事業概要
株式会社 ^{ナガラ} NAGARA (優勝：賞金 300 万円)	介護しながら事務作業を終わらせる音声特化 AI サービス「ながらかいご」
株式会社 ^{メディシー} MEDISY (2位：賞金 200 万円)	書類送付の時間をケアの時間に「MEDISY」
株式会社 ^{エックス} ナース X (3位：賞金 100 万円)	看護師教育の属人性を構造化し、判断データを蓄積・可視化する AI 教育支援アプリ「マイプリ」

(2) AICHI NEXT UNICORN LEAGUE (ピッチコンテスト)

次世代のユニコーンの創出を目指すべく、創業初期のスタートアップを対象に賞金付きのピッチコンテストを3回開催し、成長見込みの高いスタートアップに対して事業推進に必要な資金を支援。

◎ 事業の成果

シーズン4：テーマ ウェルビーイング	応募社数：99社、登壇社数：10社
シーズン5：テーマ モビリティ	応募社数：40社、登壇社数：10社
シーズン6：テーマ 愛知×イノベーション	応募社数：92社、登壇社数：10社

◎ 具体的な成果事例

	シーズン4	シーズン5	シーズン6
優勝 (賞金 500 万円)	株式会社 ^{リプレイス} RePlayce	イモーション フリート eMotion Fleet 株式会社	株式会社 フィールドワークス FieldWorks
2位 (賞金 300 万円)	株式会社 ^{ママウエル} MamaWell	グラフィット glafit株式会社	株式会社 ^{イクラ} ikura
3位 (賞金 200 万円)	株式会社 クロスメディスン	株式会社 マップフォー	株式会社 エンドファイト

(3) あいちスタートアップ創業支援事業費補助金（起業支援金）

県内で新たに起業する者等が起業に要する経費に対し、起業支援金による直接支援を実施。また、起業支援金支給に留まらず、伴走支援を併せて実施し、起業後の成長に効果的に寄与。

◎ 事業の成果

応募件数：73 件、支給件数：22 件

◎ 具体的な成果事例

生成 AI を活用したモビリティ設計支援システム開発を実施する、アンテナ株式会社^{アンテナ}が起業。

3 成長促進支援

(1) AICHI DEEPTeCH LAUNCHPAD

破壊的イノベーションを創出し、社会課題を解決する可能性が高いディープテックスタートアップの技術の社会実装支援を実施。

本県の産業構造と親和性の高いディープテックスタートアップを募集。5社を採択し、各分野の専門家による伴走支援、競争的資金獲得等の総合的な成長サポート、コミュニティ形成等を実施。

◎ 事業の成果

応募社数：47 社 採択社数：5 社

(研究開発費（最大 4,000 万円）支援あり：3 社、支給なし：2 社)

◎ 具体的な成果事例

国立の核融合科学研究所の知見を引き継ぎ、2030 年代に核融合発電の社会実装を目指す株式会社^{ヘリカル フュージョン}Helical Fusionが、2025 年 12 月にシリーズ A ^{エー}エクステンションラウンドで約 8.7 億円の資金調達完了。

(2) CoLORS（2025 年度新規）

STATION Ai におけるイノベーション創出の基盤を強化するため、スタートアップに関する多様な人材の集積と交流を促進する、3つのテーマ（女性起業家、学生、研究者）に沿ったプログラムを実施。

(ア) 女性起業家の創出・成長 (FLARE AICHI)

スタートアップとして事業拡大を目指す女性を対象とした成長支援プログラムを実施。

(イ) 学生のスタートアップへの就労 (CrossNest)

愛知を拠点に、国内・海外・外資系スタートアップの現場でリアルな課題解決に挑む学生インターンシッププログラムを実施。

(ウ) 研究者の有する研究シーズの事業化等の機会創出 (超異分野学会 in STATION Ai)

様々な分野の研究者のシーズを発表する機会を設け、企業等との共創を促す超異分野学会を開催。

◎ 事業の成果

プログラム	項目	実績
FLARE AICHI	資金調達額 1,000 万円以上	6 社
	女性起業家創出数	1 名
	他のアクセラレーションプログラム等への採択数	16 社
CrossNest	参加学生のスタートアップ就業数 (プログラム終了後にスタートアップに就業した数)	7 名
超異分野学会 in STATION Ai	研究者と企業等との連携仮説の設計・実施	12 件

◎ 具体的な成果事例

FLARE AICHI で採択された環境配慮型アメニティを展開する株式会社ミヨオーガニックが、プログラム期間中に STATION Ai に本社を移転。STATION Ai 内のホテル「Minn STATION Ai Nagoya」で実証実験を実施。

4 グローバルイベント

(1) TechGALA Japan

先進技術（テクノロジー）を生かした持続可能な未来を築くため、国内外のスタートアップ、事業会社、投資家、研究機関など多様なステークホルダーが一堂に会し、新たな連携を創出する国際的な場である「TechGALA Japan 2026」を開催。



TechGALA Japan 2026

(ア) コンセプト・イベント名

地球の未来を拓くテクノロジーの祭典「TechGALA Japan 2026」

※GALAはフランス語で「祭典」を意味し、イベント名全体として「テクノロジーの祭典」を表す

(イ) 会期・会場

- ・会期：2026年1月27日（火）から1月29日（木）まで（3日間）
- ・会場：〔1、2日目〕栄地区（中日ビル、ナディアパークなど）
〔3日目〕 鶴舞地区（STATION Ai）

(ウ) コンテンツ

- ・世界的に著名なスピーカー等によるキーノートスピーチ
- ・国内外のスタートアップや事業会社、投資家等によるセッション
- ・国内外のスタートアップによるピッチコンテスト
- ・事業会社等とスタートアップによるスピードデイトング（商談会）
- ・サイドイベント（TechGALAの参加者が、自主的に企画・運営するイベント）

◎ 事業の成果

項目	実績	項目	実績
来場者数	5,528名	参加国・地域数	39か国・地域
セッション数	141件	企業展示数	252件
商談数	1,056件	サイドイベント数	126件

5 国内連携支援

(1) 県内連携

(ア) STATION Ai パートナー拠点

県内各地域において、主体的にスタートアップ支援に取り組む機関を「STATION Ai パートナー拠点（※）」とし、県内全域にわたるスタートアップ・エコシステム形成を促進。

県内各地域を支援する統括マネージャーを3名配置するとともに、自治体等を対象に、スタートアップ支援の実践機会を提供するためのビジネス共創プログラムとして、アイチ コー クリエーション スタートアップ プログラム「AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM」を実施。また、自治体等とスタートアップとの共創可能性について、地域の垣根を越えて議論するイベント「共創カイギ」を開催。

※ 2021年10月に「東三河スタートアップ推進協議会」、2023年9月に「ウェルネスバレー推進協議会」、2024年11月に「刈谷イノベーション推進プラットフォーム」、2025年9月に「尾張共創コンソーシアム」と連携・協力に関する覚書を締結。現在4つの機関を「STATION Ai パートナー拠点」と位置づけ。

◎ 事業の成果

内容	実績
新たに尾張共創コンソーシアムを STATION Ai パートナー拠点として相互の連携・協力に関する覚書を締結（2025年9月）	1件
ビジネス共創プログラムにおける参加自治体・支援機関等	62団体
「あいちスタートアップ・エコシステム共創カイギの参加者数	182名

(2) 県外・大学連携（※国外大学を除く）

(ア) 自治体連携

(I) 東京都との連携・協力に関する協定

「STATION Ai」と「Tokyo Innovation Base」という、スタートアップ・エコシステムの核となる2つ拠点の有機的な連携等により、世界中から多くの投資家や企業等を誘引する、国際イノベーション都市の形成を目指す。

(II) 大阪府との連携・協力に関する協定締結（2025年6月）

本県と大阪府それぞれがグローバルな視点に立ち、イノベーションの創出や都市魅力の向上など、国内外から多くの人、モノ、投資を呼び込む取組をより一層推進することで、日本の未来を切り拓いていくことを目指す。

◎ 事業の成果

項目	内容
東京都との連携・協力	「STATION Ai」と「Tokyo Innovation Base」における相互のイベント開催
	「TechGALA Japan」と「SusHi Tech Tokyo」における相互の出展・サイドイベント開催
大阪府との連携・協力	「Global Startup Crossroads-Osaka」へのSTATION Ai会員スタートアップの出展
	「TechGALA Japan」への大阪府の出展

(イ) 大学連携

(I) 東京大学東洋文化研究所との連携・協力に関する協定締結（2025年4月）

企業の成長に加え、社会性の視座や倫理的な価値判断を伴う新たな事業推進に向け、人文学や社会科学の方法を用いて、日本、アジア、世界の過去、現在、未来を総合的に研究し、理解しようとする研究者の世界的な拠点である東京大学東洋文化研究所と連携協定を締結。

同研究所と緊密な連携協力を行うことにより、学術研究、人材の育成および地域社会の発展に寄与することを目指す。

◎ 連携の成果

連携セミナー：2回

(II) 情報経営イノベーション専門職大学との連携・協力に関する協定締結（2025年5月）

ICTテクノロジーやビジネススキルを活用して社会課題を解決するため、世の中に新しいサービスやビジネスを生み出すイノベーターを育成する情報経営イノベーション専門職大学と連携協定を締結。

同大学と協力することで、イノベーションを起こし、日本における革新的な技術やサービスを伴った産業の創出や成長と、そうした産業形成に相応しい人材の育成に寄与することを目指す。

6 海外連携支援

(1) アメリカ支援機関連携事業

(ア) これまでの経緯

愛知県は、米国テキサス州と、2016年4月に相互協力に関する覚書を締結し、2018年度から、世界を代表するスタートアップ・エコシステム先進地の一つであるテキサス州オースティン市において、成長の中心的な役割を担っているテキサス大学オースティン校（ユージェイエーUTA）との連携によるスタートアップ支援を行っています。

また、2024年12月には、世界一のスタートアップ・エコシステムを有しているシリコンバレー地域と強いネットワークを持つカリフォルニア大学バークレー校と、連携協力に関する覚書を締結し、2025年度からは同校のアクセラレーターであるバークレー・スカイデックとの連携事業を実施しています。



テキサス大学オースティン校
ファイゲンバウム副学長との記念撮影
(2025年4月10日)



バークレー・スカイデック
ウィンネット代表との記念撮影
(2024年12月3日)

(イ) 事業概要

UTA 及びスカイデックと連携して、グローバル展開を狙うスタートアップの育成プログラムを実施。

(I) 海外展開ハンズオン支援^{※1}

UTA のメンターによる事業・ピッチのブラッシュアップやビジネスパートナーの探索・連携支援。

内容	参加社数	実施期間
北米ビジネス展開支援	県内スタートアップ [°] 3社	2025年7月～2026年3月

(II) 展示会出展支援

ハンズオン支援に参加したスタートアップに対して、北米での展示会等の出展を支援。

内容	参加社数	出展期間
展示会出展支援	県内スタートアップ [°] 3社	2025年9月～2026年3月

(III) サウス バイ サウスウエスト S X S W 出展支援

北米展開を図るスタートアップに対して、世界最大級の複合イベントであるSXSW の展示会への出展を支援。

内容	参加社数	出展期間
展示会出展支援	県内スタートアップ [°] 3社	2026年3月12日～3月14日

(Ⅳ) テキサス大学への起業家派遣

起業家・スタートアップをUTAへ派遣し、同学でのメンタリングやワークショップ、現地企業・ベンチャーキャピタル^{※2}等とのネットワーキングの機会を提供。

内容	参加者数	派遣期間
起業家派遣	4名	2025年10月20日～10月24日

(Ⅴ) アクセラレーションプログラム

スカイデックの講師をSTATION Aiに招き、スタートアップや新規事業担当者向けに事業成長を加速させる短期集中プログラムを実施。

内容	参加者数	実施日
海外展開支援	47名	2025年8月4日～8月6日

※1 企業に対するビジネス展開についてのアドバイス・事業化支援

※2 スタートアップ等に対して投資を行う組織

(ウ) 具体的な成果事例

○海外展開ハンズオン支援

製造業向けのIoTソリューションを提供するスタートアップが、現地の製造業、ロボット販売企業等3社と商談を行い実証実施に向けた調整を継続。

(参考1) テキサス大学オースティン校 (UTA) について

1883年設立。18の学部からなる州立総合大学。大学内のICスクエア研究所が大学の知識や技術に基づくイノベーション戦略の企画・立案、スタートアップの創出・市場化を支援しており、アメリカだけでなく、25か国において企業支援を実施。

(参考2) バークレー・スカイデックについて

カリフォルニア大学バークレー校のスタートアップアクセラレーター。

世界中から応募し選抜されたスタートアップ向けに同学のネットワークを最大限に活用したアクセラレーションプログラムを提供しており、世界的評価が高い。

(2) シンガポール国立大学連携事業

(ア) これまでの経緯

愛知県は、シンガポール国立大学^{エヌユーエス}(NUS)と2018年に、科学技術分野における包括的な連携協力の推進を目的とした覚書を締結しました。翌2019年には、スタートアップ支援分野における連携協力の推進を目的とした新たな覚書を締結しました。

この連携協定に基づき、2020年から県内企業とスタートアップのオープンイノベーション促進に向けた取組や、県内スタートアップの展示会出展支援等を実施しています。



NUS タン総長との記念撮影
(2023年9月21日)



BLOCK71 NAGOYA オープニングセレモニーの様子
(2024年11月1日)

(イ) 事業概要 (2025 年度)

(I) 協業プログラム「Aichi-NUS Smart Sustainable Challenge」

アイチ エヌユーエス スマート サステイナブル チャレンジ
本県のスマートサステイナブルシティ実現に向けて、県内企業と国内外のスタートアップによる協業支援を実施。

内容	参加社数	実施期間
協業支援	県内企業 4 社	2025 年 8 月～2026 年 3 月

(II) 展示会出展支援

シンガポール企業庁が主催するテクノロジーとイノベーションの展示会「SWITCH」に出展するスタートアップ 8 社の出展支援を実施。

内容	参加社数	出展期間
展示会出展支援	県内スタートアップ 8 社	2025 年 10 月 29 日～31 日

(III) マッチングイベント

NUS と連携して、シンガポールのスタートアップと県内企業とのマッチングを目的としたセミナー、展示会出展等を 8 回実施。

(IV) NUS サマープログラムへの学生派遣

NUS が主催する起業家養成プログラムに愛知県内の大学生 3 名が現地参加。

内容	参加者数	実施期間
起業家養成	県内大学生 3 名	2025 年 7 月 7 日～18 日

(V) 東南アジアビジネス展開支援プログラム

NUS が主催する東南アジア市場へのビジネス展開を支援するプログラムに県内スタートアップ 3 社を派遣。

内容	参加社数	実施期間
東南アジアビジネス展開支援	県内スタートアップ 3 社	2025 年 10 月 21 日～24 日

(ウ) 具体的な成果事例

○協業プログラム「Aichi-NUS Smart Sustainable Challenge」

- ・参加県内企業が、睡眠の質改善やヘルスケア分野の課題解決に取り組むシンガポールのスタートアップと NDA (秘密保持契約) を締結し、技術検証等を実施。
- ・参加県内企業が、高齢者や安全監視が必要な人々の見守り・転倒検知ソリューションを開発するシンガポールのスタートアップと NDA を締結。

○東南アジアビジネス展開支援プログラム

本県スタートアップが、シンガポールのベンチャーキャピタルと NDA を締結し、資金調達に係る議論を開始。

(参考) シンガポール国立大学 (NUS) について

1905 年設立。アジアを代表するトップ大学。スタートアップ支援機関「NUS Enterprise」を 2002 年に設立。同機関は、インキュベーション施設「BLOCK71」を運営しており、世界で活躍する学生や起業家を育成。

2024 年 10 月には、STATION Ai において、同施設の日本拠点「BLOCK71 NAGOYA」が開設された。

(3) フランス支援機関連携事業

(ア) これまでの経緯

2019年8月、知事がスタートアップ支援を行う高等経営大学院 INSEAD を訪問し、パートナーシップに基づく連携を進めていくことに合意しました。同月、パリ市経済開発公社^{パリアンドコー} Paris & Co とスタートアップ支援における連携協力に関する覚書を、工学系高等専門大学院（グランゼコール）^{アイエムティー アトランティック} I M T Atlantique とは、スタートアップ支援に関する協力や、学術・技術交流、学生等の人材交流の促進といった幅広い連携を目的とした包括交流に関する覚書を締結しました。

その後、2021年2月に政府の公的金融機関^{ビービーアイフランス} Bpifrance とスタートアップ支援分野における連携協力に関する覚書を締結しました。

本県はこれらの支援機関と連携することで、スタートアップの育成・支援に係る知見の習得や、イノベーションを推進するための人材育成を実施しています。



IMT Atlantique との MoU の更新
(2024年10月31日)



オーベルニュ・ローヌ・アルプ地域圏
との MOU 締結式 (2022年5月19日)

(イ) 事業概要

(I) INSEAD との連携事業

県内企業のオープンイノベーション人材の育成に向けた、INSEAD のプログラムを実施。

○ オープンイノベーションプログラム

内容	参加者数	実施期間
連続講座 (全6回)	19名	2025年8月～2026年1月
プロジェクトワーク		

○ 中堅・中小企業向けプログラム

内容	参加者数	実施期間
集中講座 (2日間)	16名	2025年10月17日～18日

(II) Paris&Co との連携事業

Paris&Co のスタッフ及び同機関が支援するスポーツ関連のスタートアップ 2 社を招き、愛知県のスポーツのエコシステムを学ぶ1週間のツアーを実施。

(III) IMT Atlantique との連携事業

愛知県内の大学及び IMT Atlantique による、大学におけるアントレプレナーシップ教育をテーマにした意見交換を実施。

内容	参加者数	実施日時
セミナー	5名	2025年11月10日

(IV) 展示会出展支援

欧州最大級のテックイベントである、^{ヴィヴァ テクノロジー} VIVA Technology への出展を支援。

内容	参加社数	出展期間
展示会出展支援	県内スタートアップ 2社	2025年6月11日～14日

(V) フランス派遣プログラム

フランスでの事業展開を目指す県内スタートアップを、STATION F^{ステーション エフ}のプログラムパートナー企業である HEC が実施する欧州展開支援プログラムへ派遣。

内容	参加社数	実施期間
フランスビジネス展開支援	県内スタートアップ ⁵ 5 社	2025 年 11 月 3 日～14 日

(VI) 愛知県インバウンドツアー

愛知県への事業展開を目指すフランスのスタートアップを対象に、本県のスタートアップ・エコシステムについて学ぶツアーを実施。

内容	参加社数	実施期間
愛知県ビジネス展開支援	フランススタートアップ ³ 3 社	2025 年 10 月 27 日～31 日

(ウ) 具体的な成果事例

○ INSEAD との連携事業

参加者がプログラムを通して事業テーマをブラッシュアップした結果、新興国の医療課題に資する新規事業を立ち上げ、短期間で黒字化を達成し、持続可能なビジネスモデルを形成した。

○ フランス派遣プログラム

ツアーに参加したスタートアップ 5 社全社がフランスにおいて各社 5 社程度と面談を行い、複数社がサービス導入等に向けた有力なパートナー候補となるフランス企業等を特定するといった成果が得られた。

○ 愛知県インバウンドツアー

ツアーに参加したフランススタートアップ 1 社が STATION Ai のリモート会員になった。

(参考 1) INSEAD について

1957 年建学。ヨーロッパ（フランス）、アメリカ（サンフランシスコ）、アジア（シンガポール）、中東（アブダビ）にキャンパスを持つ世界で最も国際化が進んだビジネススクール。経営学研究・経営幹部教育とともに世界トップクラスの評価を受けており、Financial Times^{ファイナンシャル タイムズ}グローバル MBA ランキングで 2026 年に世界第 2 位の評価を受けている。世界最大の経営幹部教育機関でもあり、毎年 12,000 人を超える世界各国のエグゼクティブが学び、年 200 社以上の企業向けに経営幹部教育を提供している。

(参考 2) HEC Paris について

1881 年設立。フランス・パリにある世界トップレベルのビジネススクール（グランゼコールの 1 つ）。欧州政財界を中心に、135 か国 76,000 人以上の優秀な人材を輩出してきた実績がある。現在、起業家教育のアクセラレーションプログラムに力を入れており、800 人以上のメンターネットワークを持つ。STATION F 施設内にスタートアップ向けインキュベーションチームを構えている。

(4) 中国支援機関連携事業

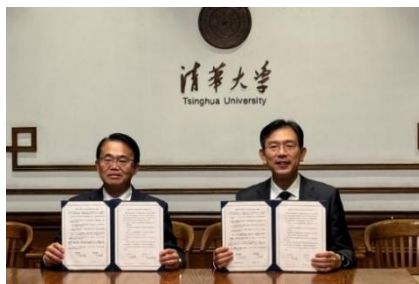
(ア) これまでの経緯

愛知県は、2019 年 9 月に清華大学、同年 11 月に上海交通大学と、2022 年 6 月に浙江大学とスタートアップ支援に係る取組を含む連携交流に係る覚書を締結し、連携協力を推進しています。

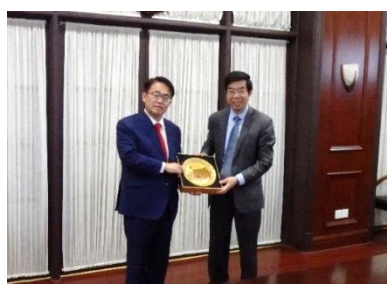
清華大学とは、2020 年度から、県内スタートアップのビジネス展開拡大やマッチングプログラム等の取組を行っています。

また、上海交通大学とは、2021 年度から連携事業を実施し、2025 年度は県内スタートアップに対し、中国で開催された展示会の出展支援を行いました。

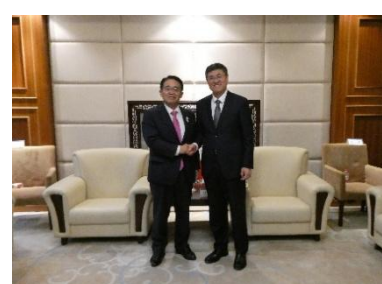
加えて、浙江大学とは2023年度から、また上海交通大学とは2025年度から、県内大学と浙江大学の学生が交流しながら、革新的かつ柔軟なアイデアを競い合うアイデアソンを実施しています。



清華大学訪問時の様子
(2024年10月)



上海交通大学訪問時の様子
(2019年5月)



浙江大学訪問時の様子
(2023年10月)

(イ) 事業概要

(I) Tus ホールディングス（清華大学関連組織）との連携プログラム

i 県内スタートアップ支援プログラム

中国へのビジネス展開を支援するハンズオン支援プログラムを実施。

内容	参加社数	実施期間
中国展開支援	県内スタートアップ 3社	2025年9月～2026年3月

ii マッチングプログラム

中国スタートアップのTechGALA Japan への出展及びピッチイベント登壇を実施。

内容	参加社数	実施日
マッチング支援	中国スタートアップ 3社	2026年1月28日、29日

(II) 上海交通大学との連携プログラム

上海で開催されたS-Tron Shanghai への出展及び36Kr と連携した中国企業等とのビジネスマッチングを実施。

内容	参加社数	出展期間
展示会出展支援	県内スタートアップ 2社	2025年9月23日、24日

(III) 浙江大学・上海交通大学との連携プログラム

起業・課題解決に関するアントレプレナーセミナー及び日中の学生が交流しながら、社会課題の解決に向けたアイデアを創出するアイデアソンを実施。愛知県側優勝チームは中国でのピッチイベントツアーに参加。

内容	日本側参加学生数	実施日
セミナー	26名	2025年7月15日
アイデアソン	22名	2025年9月3日～5日
ピッチイベントツアー	4名	2025年12月1日～5日

(ウ) 具体的な成果事例

○ 県内スタートアップ支援プログラム

訪日外国人向けの医療サービスに関するスタートアップが、現地企業とパートナーシップ協定を締結。

○ 学生企業支援プログラム

参加したスタートアップのうち1社が中国市場での展開に向けて拠点設立を検討。また、参加した県内スタートアップ2社間での連携が進行。

(参考1) 清華大学について

卒業生に^{しゅうきんべい}習近平 現最高指導者や^{こきんとう}胡錦濤 前国家主席を輩出する総合大学（所在地：北京市）。大学ランキングはアジア1位、世界12位（イギリスの教育専門誌^{タイムズ ハイアー}Times Higher Education発表の世界大学ランキング2026）。

(参考2) Tus ホールディングスについて

清華大学の関連組織で、インキュベーション施設の運営の他、ファイナンス（金融投資、資産管理）、産業・企業運営の事業を実施している。

国家級のインキュベーターとして多数のスタートアップの発掘、育成に関するプロジェクトを実施し、支援したスタートアップ数は20,000社以上となる。

(参考3) 浙江大学について

中国で最も早く創立された四大学府の一つ。同大学がある杭州は中国を代表するテクノロジー企業であるアリババを中心としたスタートアップ・エコシステムが形成され、国内第3位のスタートアップ・ハブである。

(参考4) 上海交通大学について

卒業生に^{こうたくみん}江沢民元国家主席などを輩出する総合大学。医療・ヘルスケア、理工学及び社会科学分野を強みとする。

2001年に中国科技部、教育部により国家サイエンスパークとして認定された上海交通大学国家サイエンスパーク（グランドネオベイ）において、スタートアップ向けインキュベーションの運営やイノベーション・スタートアップ人材の育成等を行っている。

(5) グローバルコミュニティ形成事業

(ア) これまでの経緯

愛知県が従来連携してきた各国（アメリカ、シンガポール、フランス、中国の4か国）に加え、2023年にドイツ・NRW州、韓国・慶尚南道、2024年には、ポルトガル・^{スタートアップ ポルトガル}経済省、Start-Up Portugal、スペイン・マドリード州とスタートアップ支援に関する覚書締結や連携に合意しました。

本県は、様々な地域や海外のスタートアップ支援機関・大学等との連携拡大を目指し、グローバルなコミュニティの形成と発展を進めています。



ポルトガル共和国経済省・レイス経済大臣との記念撮影（2024年7月5日）



マドリード州・アユソ知事との記念撮影（2024年7月8日）

(イ) 事業概要

【アウトバウンド機会創出支援及び情報発信】

(I) ドイツ・NRW州との連携

i NRW州政府訪問及び展示会参加

2025年9月に県職員がNRW州を訪問し、州政府にて今後の連携内容に関するディスカッションや、ドイツ最大規模のスタートアップイベント(Future Tech Fest)に参加し、州政府関係者との面談や、STATION Aiのプロモーションなどを実施。またGateway Factory Aachenを始め、現地のスタートアップ支援拠点などを訪問し、相互の取り組みについて情報共有を行うとともに、STATION Aiのプロモーションを実施。

(II) 韓国・慶尚南道との連携

i 慶尚南道イベントへの出展

2025年5月に韓国慶尚南道のイベントに県内企業2社、ジェトロとともに愛知県が出展しました。出展の他に、現地の自動車関連企業の工場を訪問し、地元企業との交流会に参加するなど、両国の企業間の交流が活性化。

ii 慶尚南道スタートアップのAXIA2025出展

2025年6月に慶尚南道のスタートアップ4社が、AXIA2025のアジアパビリオンの一画に出展しました。慶尚南道のスタートアップは、参加者の呼び込みや他出展企業への宣伝を行い、愛知県企業との交流が活性化。

(III) スペイン・マドリード州との連携

i マドリード州政府関連機関訪問及び展示会参加

2025年6月に県職員がマドリード州を訪問し、州政府の関連機関にて今後の連携内容に関するディスカッションを実施。また、州内のスタートアップ支援機関への訪問や、アントレプレナーシップとイノベーションのプラットフォームである、「South Summit」への参加を通じ、STATION Aiのプロモーションなどを実施。

(IV) ポルトガルとの連携

i ポルトガル訪問及び展示会参加

2025年11月に県職員がポルトガル共和国・リスボン市を訪問し、リスボン市で行われた世界最大級のテクノロジーカンファレンスである「Web Summit」に参加。出展しているスタートアップ支援機関などと面談し、支援内容を把握するとともに、STATION Aiのプロモーションなどを実施。

ii PORTUGAL STARTUP DAYの開催

2025年6月に、ポルトガルのスタートアップと、地元企業とのオープンイノベーションを促進させることを狙いとしたイベントを実施。ポルトガルから6社のスタートアップがピッチを行うとともに、県内企業とのネットワーキングを実施。県内企業15社30名程度をはじめとした計70名程度が参加。

【イノベーションアクセラレート事業】

○ジャック・アタリ氏と愛知県知事の対談

2025年3月に愛知県のイノベーション・アドバイザーに就任したジャック・アタリ氏^{テックガラ}と大村知事との間で対談を計3回実施。また、2026年1月のTechGALAにおいて、「テクノロジーと未来」をテーマとしたアタリ氏のセミナーを実施。



アタリ氏との対談の様子
(2025年8月18日)



アタリ氏との記念撮影
(2025年8月18日)

(ウ) 具体的な成果事例

【アウトバウンド機会創出支援及び情報発信】

○ ドイツ・NRW州との連携

2025年6月にヘラーNRW州経済省次官が STATION Ai を訪問し、愛知県と NRW 州の連携に関して意見交換を行うとともに、今後の連携方針について確認。

○ 韓国・慶尚南道との連携

慶尚南道イベントGSAT2025^{ジーサット}に参加した県内企業が、イベントで会った慶尚南道の企業を2025年12月に再度訪問し、その後もGSAT2026への参加を決定するなど、慶尚南道企業との関係を継続。

○ スペイン・マドリード州との連携

展示会にてプロモーションを行った「Aichi Landing Pad」^{アイチ ランディング パッド} (23ページ参照) に、マドリード州のスタートアップ1社が参加し、併せて STATION Ai へ入居。

○ ポルトガルとの連携

PORTUGAL STARTUP DAYに参加したポルトガルスタートアップ1社が、「Aichi Landing Pad」に参加し、併せて STATION Ai へ入居。

【イノベーションアクセラレート事業】

県のイノベーション関連施策の方向性に関する提言を受領。

※イスラエル支援機関連携事業

イスラエルイノベーション庁及びStart-Up Nation Central^{スタートアップ ネーション セントラル}と連携した県内企業のオープンイノベーションを促進する取組を実施。

(2025年11月18日(火)に事業終了の旨を発表済み。)

(6) あいちグローバルスタートアップ・エコシステム推進事業

(ア) これまでの経緯

愛知県が連携している 8 か国・20 のスタートアップ支援機関や大学等と共同で実施するプログラムに加え、国・地域を限定しないグローバルなスタートアップと県内事業会社とのオープンイノベーション創出を目的とする事業を 2021 年度から支援しています。

本事業は、海外スタートアップを愛知県に誘引し、県内事業会社とのオープンイノベーションを創出するプログラム「Aichi Landing Pad」の実施に加えて、事業会社向けプログラムとして、スタートアップとのオープンイノベーションを見据えた研修などの事業も実施しています。

(イ) 事業概要

愛知県の産業特性を踏まえた事業領域で活動する海外スタートアップを世界から本県に誘引し、県内事業会社のニーズを収集・分析したうえで、事業会社とのオープンイノベーションを促進するグローバルスタートアップマッチングプログラム「Aichi Landing Pad」を実施。

また、県内事業会社に対しては、イノベーションに対するマインドを醸成し、実践的な知見を習得するための研修も実施。

項目	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
参加スタートアップ	17 社	15 社	17 社 (うち来日は 11 社)	18 社 (うち来日は 13 社)
県内事業会社との個別ミーティング数 (うち契約締結実績)	23 件 (1 件)	44 件 (3 件)	111 件 (6 件)	180 件 (7 件)
参加スタートアップから STATION Ai の会員となった社数 (2023 年度までは PRE- STATION Ai)	4 社	6 社	8 社	13 社

< 県内事業会社のニーズ収集・分析 実績 >

項目	2024 年度	2025 年度
ヒアリング先	14 社	12 社
モデルケース	12 件 (GX 分野) 30 件 (マニファクチャリング分野) ※重複を含む	20 件 (GX 分野) 23 件 (マニファクチャリング分野) ※重複を含む

< 県内事業会社向けプログラム 実績 >

項目	2024 年度	2025 年度
プログラム参加企業	35 社 (48 人)	33 社 (39 人)

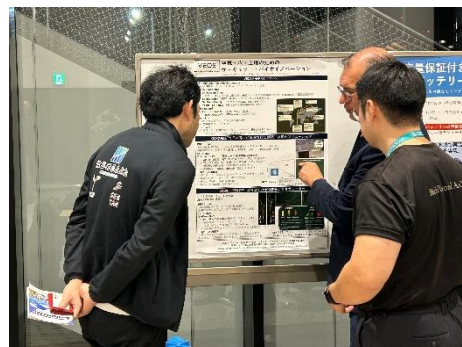
(ウ) 具体的な成果事例

<グローバルスタートアップマッチングプログラム「Aichi Landing Pad」>

- 2次利用電池の自動組み立てシステムを提供する海外スタートアップが、県内企業とシステム導入に向けた検討のため、秘密保持契約（NDA）を締結。
- 自動走行フォークリフトを提供する海外スタートアップが、名古屋に支店を持つ事業会社とシステム導入に向けた検討のため、秘密保持契約（NDA）を締結。
- 海外スタートアップ13社が、本プログラムへの参加を契機としてSTATION Aiの会員となり、同拠点において活動。



デモデイの様子（2025年11月）



マッチングイベントの様子（2025年11月）